

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腫瘍内科（旧：化学療法・緩和ケア科）では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]ルテチウムオキシドトレオチド（ ^{177}Lu ）を用いた内用療法における高齢者機能評価の有用性

[研究対象者]

腫瘍内科（旧：化学療法・緩和ケア科）もしくは消化器・一般外科においてルテチウムオキシドトレオチドを用いた内用療法を受けて、2022年12月～2025年7月までの間に全4回の治療が終了もしくは何らかの理由で治療が終了した患者

[利用している診療情報等の項目]

- ・ 治療導入前のG8（Geriatric-8）スコア、Mini-Cogスコア
- ・ 基本情報：年齢、性別、診断名、病理組織学的分類、クレアチニンクリアランス値
- ・ 治療情報：薬剤投与量、治療実施回数
- ・ 転機：治療中断の有無と理由、Grade 3以上（血小板数減少はGrade2以上）の有害事象の有無と程度

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

ルテチウムオキシドトレオチド（ ^{177}Lu ）を用いた内用療法を開始する際には、全4回の治療が全て実施できるか、その可能性を確認するアセスメントが重要となります。そこで高齢者機能評価（G8とMini-Cogスコア）と治療完遂の関連を確認し、全4回の治療を全て実施できるかの確認をするために高齢者機能評価が有用かを検討する目的で利用します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 部署名：看護部 職名：看護師 氏名：小山美樹

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 部署名：看護部 氏名：小山美樹

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）